

これからの二中のために

私の通う第二中学校では、様々な活動を行っています。その一つが委員会活動です。

第二中学校には評議員会、生活委員会、美化委員会、保健委員会、図書委員会、そして広報委員会と六つの委員会があります。

評議員は、ベル着点検、生活委員は身なり点検、美化委員はロッカーや掃除点検と各委員会がそれぞれ点検を行っています。

これらの点検は一つ一つ大切な意味があり、それらは全て自分自身や周りのみんなのため、大人になっても必要とされるものであり、全員が一丸となって取り組んでいます。

他にも地域クリーン活動やあいさつ運動などの取り組みも行っています。

地域クリーン活動では、年間2回、第二中学校の周辺の清掃をし、自分たちの地域をより良い環境とするために行っています。

あいさつ運動では、一人一人があいさつをすることの大切さを理解し、地域の人に自らの意志をもってあいさつができるよう各部活動でローテーションを組み、行っています。

私はこれらの活動を行っていくことで学校全体の雰囲気や印象が良くなり過ぎやすくなると思います。また、地域との関わりを増やすことで、第二中学校に通う生徒全員が、安心して登下校を行うことができ、さらには、互いに支え合えるような関係が一層築けると思います。

これからも一つ一つの活動を私たちが一丸となって取り組み、積極的なあいさつが飛び交う元気で明るい第二中学校にしていきたいです。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第46回 —

笑顔をお届けするために

深小学校では、毎年三・四年生が地域にある特別養護老人ホーム「サンライズ大池」との交流を行っています。利用者の皆さんに少しでも元氣や笑顔届けたいという思いで、今年でも取り組んできました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響により交流に行くことができませんでしたが、何かできることはないかをみんなで考え、歌とおりをプレゼントすることにしました。

歌は、そのころ練習していた「にじ」という曲を動画に撮ることにしました。送った動画を見て笑顔になっていただけるように、歌の歌詞に合ったイラストをみんなで分担して描きました。歌の練習では、みんなの息がなかなか合わなかったり、笑顔で歌えていなかったりして、何度もやり直したり、話し合ったりしながらやっと完成しました。

しおりは、コスモスなどの季節の花や葉っぱを押し花にして作りました。メッセージやイラストもそえながら、約九十枚のしおりをみんなで協力して作りました。

完成したプレゼントを私達の代わりに先生が届けてくださいました。数日後、学校に利用者みなさんが動画を見られている写真と感謝の手紙が届けられました。手紙には、楽しんで見られていたことや、笑顔で見られていたことが書いてありました。私は、これを見たとき、「この活動は成功したんだ。」と実感しました。

私達が相手のことを思いながら形にした活動が、こうやって相手に届き、「ありがとう。」という形で自分たちに戻ってきて、大変だったけどやってよかったと心から思いました。これからも、周りの人を笑顔にする活動を考え、続けていきたいです。

